

2025 年 第 2 回 福島区歴史研究会セミナー

『歴史と水郷の村 海老江の今昔』

日 時 令和 7 年 6 月 12 日 (木) 午後 2 時～4 時 (受付 1 時 30 分～)

会 場 福島区民センター 301・302 会議室

〒553-8501 大阪市福島区吉野三丁目 17-23

講 師 末廣 訂 氏 (福島区歴史研究会顧問)

定 員 50 人 (当日先着順) ・入場無料

共 催 福島区役所 福島図書館

問合先 福島区歴史研究会セミナー担当 水谷浩一 ☎ 090-1155-2092

海老江は、近世は幕府領で、明治のころまではのどかな農業中心の水郷の村だった。明治末の新淀川開削工事で、村の65%が川底になり、淀川沿いに薬品、ガラス、インク等の工場が進出してきた。

大正末頃から井路川が埋め立てられ、かつての大和田(梅田)街道も街並みに隠れ、田んぼの跡地に工場、家、店が建ち、村の風景が一変した。

一方、明治、大正に海老江に在住した松瀬青々の句碑、大阪府無形文化財に指定されている宮座神事、八坂神社の祭り等、伝統行事など大切に残されている。昨今、工場跡に高層マンションや商業ビルが出来、地下鉄、JR 東西線により大変便利な町になって、人も増えた。そんな海老江の今昔の姿を振り返ってみるのも興味深い。



宮座神事 米とぎの儀
(個人蔵)



阪神国道より淀川・西成大橋を望む
(『鷺洲町史』より)

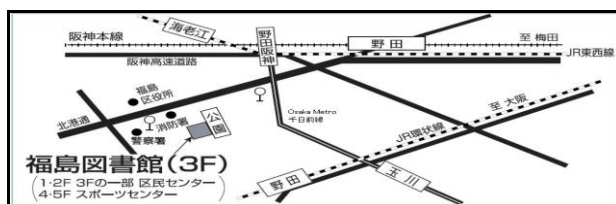


八坂神社夏祭り 枕太鼓
(個人蔵)

福島区歴史研究会 HP

<http://o-fukushima.com/rekishi/top.htm>

会場案内



∞ 展示案内 ∞

「戦後 80 年」福島図書館 郷土資料展示室 期間 令和 7 年 3 月 21 日～6 月 29 日

「ノダフジの今昔」福島区役所展示コーナー (1 階・5 階)

期間 令和 7 年 4 月 14 日～9 月 30 日